

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード 5-3-2		事業名 やすらぎ歩行空間プランの策定	
担当 清田区市民部地域振興課 岩元 889-2400(252) 清田区土木部維持管理課 長谷川 888-2800(321)			
全 体 計 画			
事業内容	旧国道36号がもつ歴史・文化的な側面を生かした美しい景観づくりや緑と親む空間づくりを目指し、区民が利用しやすく、親しみを感じる「やすらぎ歩行空間プラン」を策定する。 現在整備している区役所周辺に引き続き、北野1条2丁目から清田1条1丁目の区間約1kmを対象として、沿線にある企業や地域住民と連携し、点在する桜並木などを生かしながら、歩行者や自転車に配慮した道路環境づくりを目指す。 このプランは平成22年度までに、地域住民や有識者、関係団体などで構成する会議において検討・策定する。		<年度別の事業内容> (H20) ワークショップの開催、先進事例調査及び現地調査 (H21) ワークショップの開催及びプランの概要検討 (H22) ワークショップ、まちづくり会議の開催及びプラン策定
	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)
事業内容・量・場	/		本プラン検討会設立準備会の開催(2回) 1月 設立準備会の立ち上げ、主旨説明、検討会委員の選出等 3月 プランの方向性、公募委員の選定等 清田区民フォーラム 11月4日 「当該区間を含めた旧国道36号のあり方」についてパネルディスカッションを開催
	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)
規模	検討会の開催(5回) ・5月 主旨説明、ワークショップ議題等検討 ・8月 ワークショップの意見に対する検討・まとめ等 プランの方向性、ワークショップ議題検討 ・10月 ワークショップの意見に対する検討・まとめ等 区民フォーラム中間報告内容、ワークショップ議題検討 ・1月 ワークショップの意見に対する検討・まとめ等 プラン方向性案の検討等 ・2月 プラン方向性修正案、ニュースレター案の検討		検討会の開催(2回) ・5月 プラン素案の検討、ワークショップ議題等検討 ・8月 ワークショップの意見に対する検討・まとめ等 プランの最終取りまとめ ワークショップの開催(1回) ・7月 プラン素案に対する意見交換 (9月末 プラン策定予定)
	ワークショップの開催(3回) ・7月 現地踏査、旧道の良い・良くない点、改善策の意見交換 ・9月 重点整備内容に対する意見交換 ・12月 誰が何をするか、区民参加の方法に対する意見交換		
件数等	清田区民フォーラム ・11月 プランの中間報告等		
	ニュースレター発行(3月)		

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-3-2			事業名	やすらぎ歩行空間プランの策定		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
やすらぎ歩行空間プランの策定	-	-	検討	検討	策定	策定	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 平成20年度に「やすらぎ歩行空間プラン検討会」の設立に向け、地域代表者、有識者等4人の委員による設立準備会を設置し、検討会の構成委員、プランの方向性等について協議した。準備会での検討を受け、平成21年5月に、地域代表者、有識者、公募委員等からなる検討会を設立し、21年度中に検討会を5回、ワークショップを3回開催した。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力]検討会及びワークショップへの参加 [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし) 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 清田区民フォーラムでの中間報告、アンケートのほか、区HP、広報さっぽろによる情報提供、ニュースレターの発行を行った。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>地域代表者、有識者、公募委員等で構成される検討会や区民・企業等が参加するワークショップを開催することにより、地域の特性や住民のニーズをプランに反映することができる。 また、区民・企業等の参加を得て、広く検討することで、まちづくりへの参加意識を高め、地域力の醸成を図ることができる。</p>			<p>プラン完成後の、具現化に向けた年次スケジュール及び整備予算の確保について、検討する必要がある。 検討会で区民から出されたさまざまなアイデアのうち、すぐに取り組むことができるソフト的なものについては、プラン完成後に引き続き区民とともに考え、実現する体制を整えることが必要である。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>プラン策定後は、ソフト事業について区民とともに引き続き考え、活動していく仕組み作りを検討するとともに、現段階において整備そのものめどは立っていないことから、整備の具現化に向けた検討を関係部局と進めていく。</p>							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-3-2		事業名	やすらぎ歩行空間プランの策定		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	0	2,500	3,000	2,500	8,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の	0	0	0	0	0	
一般財源	0	2,500	3,000	2,500	8,000		
予算	事業費	0	2,000	2,700	3,200	7,900	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の	0	0	0	0	0	
一般財源	0	2,000	2,700	3,200	7,900		
実績	事業費	0	0	3,040	-	3,040	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0		0	
	市の債	0	0	0		0	
	その他の	0	0	0		0	
一般財源	0	0	3,040		3,040		
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)				78.0%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度] 検討会の運営を円滑に進めるために、設立準備会を開催し検討した。このため、当初予定していたワークショップ等の開催は平成21年度に変更した。また、交通量等現地調査については、土木部で別途実施した交通量調査の結果を参考とした。 ワークショップ等運営費の減(1,500千円)、現地調査費の減(500千円)							
[21年度]							
[22年度] 平成21年度の検討内容を踏まえ、プラン取りまとめに係る経費の増を見込んだ。							